

市の理念

- 1 つねに市民の立場に立ち、人間優先の施策を進める。
- 2 改善と創造に徹して、躍動的な施策を進める。
- 3 的確な展望に基づいて、未来につながる施策を進める。
- 4 自治の認識を深めて、市民参加の施策を進める。

第194号
55年10月

八幡やわた

発行 八幡市役所
八幡市八幡園内75
TEL (075) 988-1111
編集 市民部広報課

市民の理念

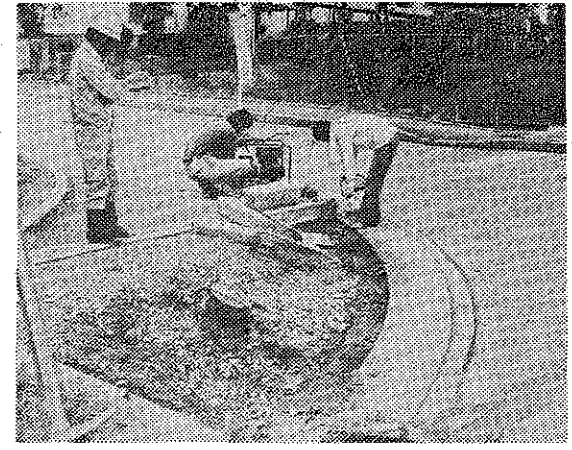
- 1 地域社会の主体者として、権利と義務の自覚を深める。
- 2 生活共同体の一員として、積極的に市政に参加する。
- 3 新しい社会の創造をめざして、連帯の行動を進める。
- 4 責任と協調の市民生活を求めて、つねに前進をはかる。

八幡高校創立10周年 さらに発展と飛躍を

八幡に高校の設置を—と長い間の住民の願いがかなって、昭和四十六年四月に府立八幡高校が開校して以来、ことごとちう十年目を迎えました。その間、多くの生徒が共に学び、成長していったことでしょう。ことし九月十六日から二十日までの間、同校のメーキング行事である学校祭が行われました。生徒の知恵を集め「十年目の飛躍」と題し盛りだくさんな催物を市民に披露、なかでも仮装行列では、ドラエモンや孫悟空などの趣向を凝らし、ちびっ子たちを楽しませていました。



福祉の道路整備に着手 身障者などの通行の安全を確保



これで安心して交差点を横断できます

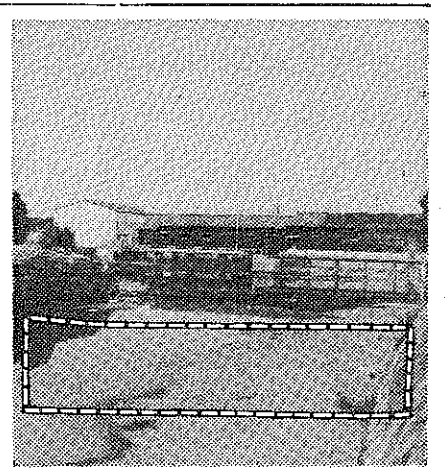
市役所八幡園内75
TEL (075) 988-1111

この道路は、市の主要な幹線道路で、歩行者の通行の安全を確保するため、歩道の拡充と排水設備の整備に着手します。

市内九十五ヶ所で
歩道の拡充と排水設備の整備に着手します。

市役所八幡園内75
TEL (075) 988-1111

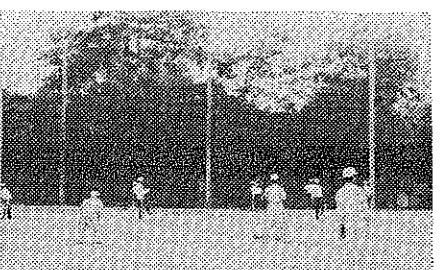
排水能力の確保をはかる 電動式除じん機を設置 森の排水機場に新設する



点検の部分に除じん機4機を設置します

八幡市は、排水能力の確保をはかるため、森の排水機場に電動式除じん機4機を新設します。

これで安心 男山中で 防球ネットが完成



男山中で防球ネットが完成

男山中で防球ネットが完成

新住所の変更届を 今年輸入された方へ

今年、八幡市に輸入された方へ

市長の手帳が

市長の手帳が

市民体育大会



日時：10月26日(日)午前9時
場所：さつき公園グラウンド

花展を開催 八老連盆栽部

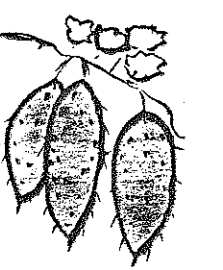
10月30日(木)から11月1日(土)までの3日間、市老人クラブ連合会盆栽部の主催による菊展が、市役所1階のロビーで開催されます。

子どものなやみは 家庭児童相談室へ



子どものなやみは家庭児童相談室へ

観光イモ園



観光イモ園

個性あふれる快適なまちづくり

広域行政圏計画を策定

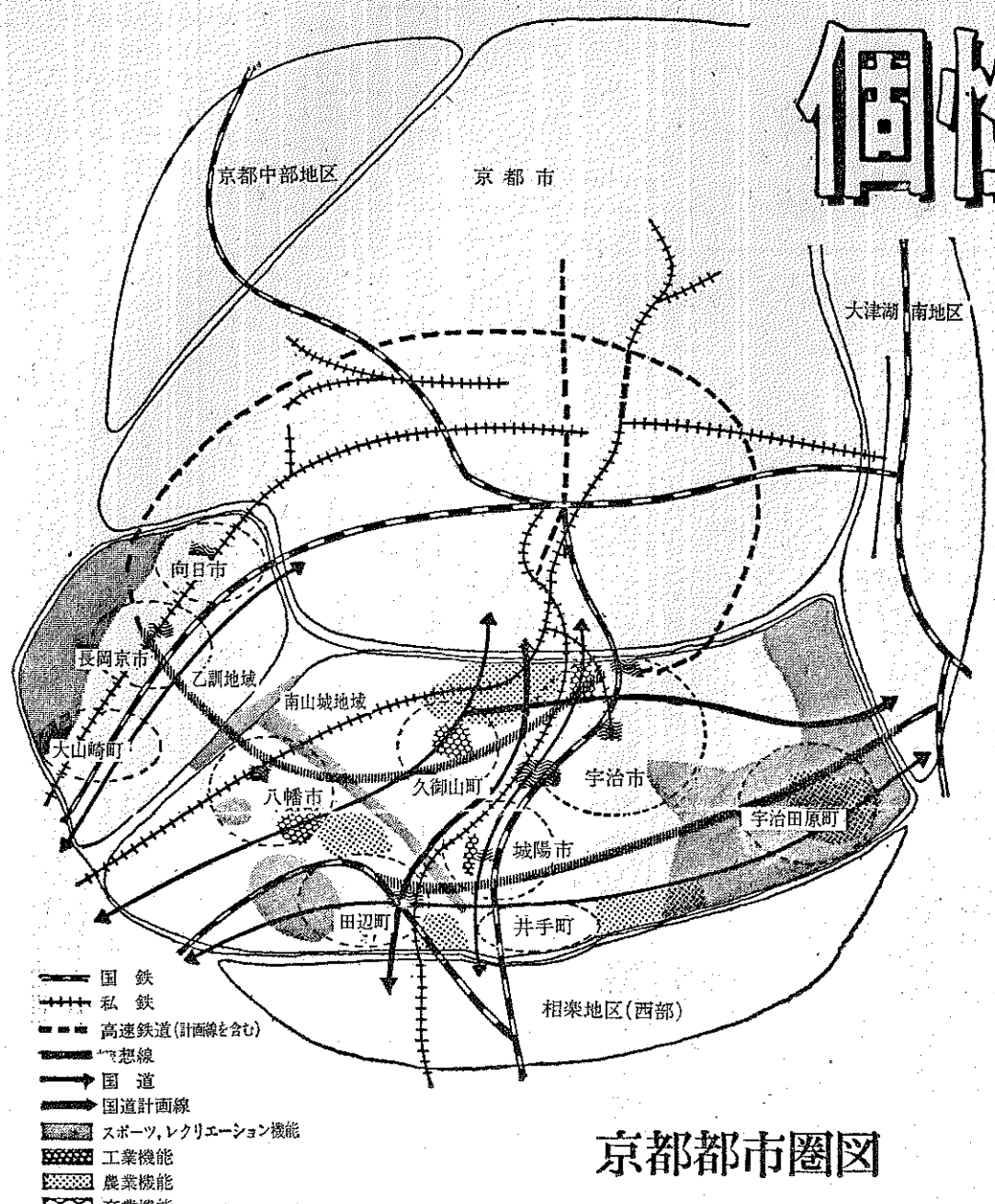
京都府の五市五町を構成する京都府広域行政圏計画が、府議会に提出された。この計画は、二十一世紀を展望し、昭和六十一年を目標とする十年間のまちづくり計画である。この計画は、府民の生活の向上と、地域の発展を目的として策定された。計画の中心は、京都市を中心とした都市圏の発展と、その周辺地域の開発にある。計画は、交通、住宅、産業、文化、環境などの分野で具体的な施策を盛り込んでいる。

発展方向と五つの柱

この計画の発展方向は、五つの柱にまとめられている。第一は、交通の発展である。第二は、住宅の確保である。第三は、産業の振興である。第四は、文化の振興である。第五は、環境の保全である。これらの柱に基づき、具体的な施策が策定されている。

今日までの経過

- 昭和54年
9月 京都府広域行政圏計画推進協議会設立
11月 京都府広域行政圏計画推進協議会第1回会議
12月 京都府広域行政圏計画推進協議会第2回会議
- 昭和55年
1月 基本構想第一次案完成
2月 基本構想第二次案完成
3月 基本構想第三次案完成
4月 基本構想第四次案完成
5月 基本構想第五次案完成
6月 基本構想第六次案完成
7月 基本構想第七次案完成
8月 基本構想第八次案完成
9月 基本構想第九次案完成
10月 基本構想第十次案完成



京都都市圏図

京都府南部都市広域行政圏計画 基本構想策定の大綱

この計画は、京都府南部の都市圏を対象としたものである。計画の中心は、交通、住宅、産業、文化、環境などの分野で具体的な施策を盛り込んでいる。計画は、府民の生活の向上と、地域の発展を目的として策定された。計画の中心は、京都市を中心とした都市圏の発展と、その周辺地域の開発にある。計画は、交通、住宅、産業、文化、環境などの分野で具体的な施策を盛り込んでいる。

道路や下水路の整備を 住民アンケートの調査結果から

この調査は、住民の生活の向上と、地域の発展を目的として実施された。調査の結果、道路や下水路の整備が最も重要な課題であることが明らかになった。住民は、道路の拡幅や新設、下水路の整備などを強く要望している。この結果に基づき、具体的な施策が策定されている。

健康で明るい 心豊かなまちづくり

この計画は、住民の健康と、心の豊かさを重視している。計画は、住民の生活の向上と、地域の発展を目的として策定された。計画の中心は、京都市を中心とした都市圏の発展と、その周辺地域の開発にある。計画は、交通、住宅、産業、文化、環境などの分野で具体的な施策を盛り込んでいる。

緑のたけのこ 安全なまちづくり

この計画は、緑の保全と、安全なまちづくりを重視している。計画は、住民の生活の向上と、地域の発展を目的として策定された。計画の中心は、京都市を中心とした都市圏の発展と、その周辺地域の開発にある。計画は、交通、住宅、産業、文化、環境などの分野で具体的な施策を盛り込んでいる。

伝統を 香るまちづくり

この計画は、伝統文化の継承と、まちづくりを重視している。計画は、住民の生活の向上と、地域の発展を目的として策定された。計画の中心は、京都市を中心とした都市圏の発展と、その周辺地域の開発にある。計画は、交通、住宅、産業、文化、環境などの分野で具体的な施策を盛り込んでいる。

住民参加による 行政の効率化

この計画は、住民の参加による行政の効率化を重視している。計画は、住民の生活の向上と、地域の発展を目的として策定された。計画の中心は、京都市を中心とした都市圏の発展と、その周辺地域の開発にある。計画は、交通、住宅、産業、文化、環境などの分野で具体的な施策を盛り込んでいる。

おめでとうございます

結婚		出生	
区	区	区	区
一 区	二 区	一 区	二 区
三 区	四 区	三 区	四 区
五 区	六 区	五 区	六 区
七 区	八 区	七 区	八 区
九 区	一〇 区	九 区	一〇 区
一一 区	一二 区	一一 区	一二 区
一三 区	一四 区	一三 区	一四 区
一五 区	一六 区	一五 区	一六 区
一七 区	一八 区	一七 区	一八 区
一九 区	二〇 区	一九 区	二〇 区
二一 区	二二 区	二一 区	二二 区
二三 区	二四 区	二三 区	二四 区
二五 区	二六 区	二五 区	二六 区
二七 区	二八 区	二七 区	二八 区
二九 区	三〇 区	二九 区	三〇 区
三一 区	三二 区	三一 区	三二 区
三三 区	三四 区	三三 区	三四 区
三五 区	三六 区	三五 区	三六 区
三七 区	三八 区	三七 区	三八 区
三九 区	四〇 区	三九 区	四〇 区
四一 区	四二 区	四一 区	四二 区
四三 区	四四 区	四三 区	四四 区
四五 区	四六 区	四五 区	四六 区
四七 区	四八 区	四七 区	四八 区
四九 区	五〇 区	四九 区	五〇 区
五一 区	五二 区	五一 区	五二 区
五三 区	五四 区	五三 区	五四 区
五五 区	五六 区	五五 区	五六 区
五七 区	五八 区	五七 区	五八 区
五九 区	六〇 区	五九 区	六〇 区
六一 区	六二 区	六一 区	六二 区
六三 区	六四 区	六三 区	六四 区
六五 区	六六 区	六五 区	六六 区
六七 区	六八 区	六七 区	六八 区
六九 区	七〇 区	六九 区	七〇 区
七一 区	七二 区	七一 区	七二 区
七三 区	七四 区	七三 区	七四 区
七五 区	七六 区	七五 区	七六 区
七七 区	七八 区	七七 区	七八 区
七九 区	八〇 区	七九 区	八〇 区
八一 区	八二 区	八一 区	八二 区
八三 区	八四 区	八三 区	八四 区
八五 区	八六 区	八五 区	八六 区
八七 区	八八 区	八七 区	八八 区
八九 区	九〇 区	八九 区	九〇 区
九一 区	九二 区	九一 区	九二 区
九三 区	九四 区	九三 区	九四 区
九五 区	九六 区	九五 区	九六 区
九七 区	九八 区	九七 区	九八 区
九九 区	一〇〇 区	九九 区	一〇〇 区



市、町のみなさんへ
困りごとの解決に…
専門家がアドバイス

困りごとの解決に… —専門家がアドバイス—

市、町のみなさんへ
困りごとの解決に…
専門家がアドバイス

水路交通の発達が八幡の発展に貢献

水路交通の発達
八幡の発展に貢献

中世交通経済史と八幡

中世交通経済史と八幡
水路交通の発達

ひとりでも悩まず相談を

市民相談

市民相談
ひとりでも悩まず相談を

府の相談

府の相談
ひとりでも悩まず相談を



市長、助役や部長が出席して行われた納涼相談に熱心な市民のみなさんから建設的な意見や要望が寄せられました。

納涼相談

納涼相談
ひとりでも悩まず相談を

市民の声を市政に…

市政モニター

市政モニター
市民の声を市政に…

おめでとうございます

おめでとうございます
結婚、出産



やわた散策

あたりは谷川のせせらぎだけが聞え、雑木や雑草が茂る泉坊あたりに華やかな当時は思ふすべもない

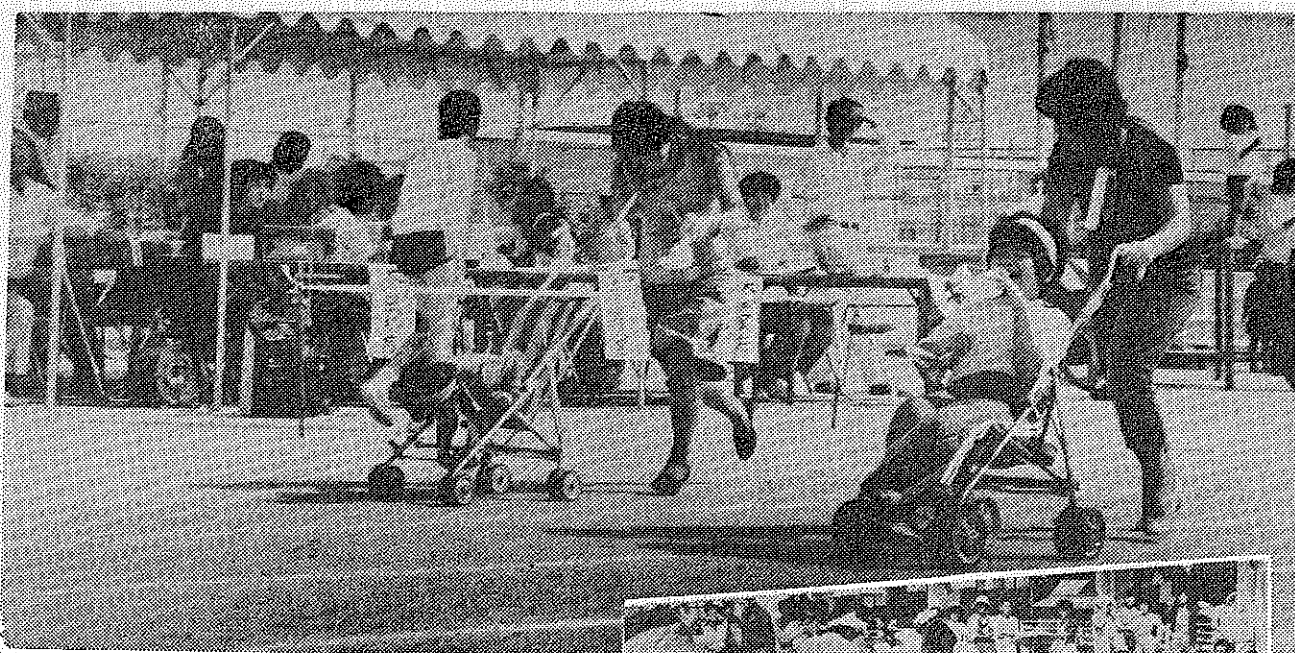
八幡の文化発祥の地「泉坊」

泉坊は八幡の文化発祥の地として、江戸時代には花柳界が栄えたとされています。泉坊の文化は、八幡の文化の中心地として、江戸時代には花柳界が栄えたとされています。泉坊の文化は、八幡の文化の中心地として、江戸時代には花柳界が栄えたとされています。

泉坊、松花堂跡

泉坊、松花堂跡

秋



お母さん、がんばれ！車イスの子どもたちが声援がとぶ（身障者スポーツ大会）



ヨッパ、ヨッパ、ドンドン子どもたちは太鼓が大好き（八幡小幼稚園）

火災・救急統計	
55/1～9累計	54/1～9累計
救急件数 978	906
搬送人員 1007	954
火災件数 14	12



市民のひろば

やわたの道しるべを拓本に
拓本は、市内に点在する道や、八幡の歴史を伝えるために、拓本が作成されています。

八幡の歴史を伝えるために、拓本が作成されています。拓本は、市内に点在する道や、八幡の歴史を伝えるために、拓本が作成されています。

八幡の歴史を伝えるために、拓本が作成されています。拓本は、市内に点在する道や、八幡の歴史を伝えるために、拓本が作成されています。

八幡の歴史を伝えるために、拓本が作成されています。拓本は、市内に点在する道や、八幡の歴史を伝えるために、拓本が作成されています。

八幡の歴史を伝えるために、拓本が作成されています。拓本は、市内に点在する道や、八幡の歴史を伝えるために、拓本が作成されています。

八幡の歴史を伝えるために、拓本が作成されています。拓本は、市内に点在する道や、八幡の歴史を伝えるために、拓本が作成されています。

八幡の歴史を伝えるために、拓本が作成されています。拓本は、市内に点在する道や、八幡の歴史を伝えるために、拓本が作成されています。

八幡の歴史を伝えるために、拓本が作成されています。拓本は、市内に点在する道や、八幡の歴史を伝えるために、拓本が作成されています。

八幡の歴史を伝えるために、拓本が作成されています。拓本は、市内に点在する道や、八幡の歴史を伝えるために、拓本が作成されています。

八幡の歴史を伝えるために、拓本が作成されています。拓本は、市内に点在する道や、八幡の歴史を伝えるために、拓本が作成されています。

八幡の歴史を伝えるために、拓本が作成されています。拓本は、市内に点在する道や、八幡の歴史を伝えるために、拓本が作成されています。

八幡の歴史を伝えるために、拓本が作成されています。拓本は、市内に点在する道や、八幡の歴史を伝えるために、拓本が作成されています。



角典香ちゃん
55年5月9日生・お母さん都さん

生まれたばかりの赤ちゃん
赤ちゃんは、お母さんの愛情で育ちます。

赤ちゃんは、お母さんの愛情で育ちます。赤ちゃんは、お母さんの愛情で育ちます。

赤ちゃんは、お母さんの愛情で育ちます。赤ちゃんは、お母さんの愛情で育ちます。

赤ちゃんは、お母さんの愛情で育ちます。赤ちゃんは、お母さんの愛情で育ちます。

赤ちゃんは、お母さんの愛情で育ちます。赤ちゃんは、お母さんの愛情で育ちます。

赤ちゃんは、お母さんの愛情で育ちます。赤ちゃんは、お母さんの愛情で育ちます。

赤ちゃんは、お母さんの愛情で育ちます。赤ちゃんは、お母さんの愛情で育ちます。

赤ちゃんは、お母さんの愛情で育ちます。赤ちゃんは、お母さんの愛情で育ちます。

赤ちゃんは、お母さんの愛情で育ちます。赤ちゃんは、お母さんの愛情で育ちます。

赤ちゃんは、お母さんの愛情で育ちます。赤ちゃんは、お母さんの愛情で育ちます。

応募締切日 10月末日

第1回ふるさと八幡の写真展

「ふるさと八幡」をテーマに、第1回ふるさと八幡の写真展を実施します。あなたの写した「ふるさと八幡」をどしどし応募してください。

応募テーマ 八幡の四季の風景、祭、行事、名所、旧跡、伝統産業のほか、市の施設や建築物など

応募資格 八幡市内に在住または市内の事業所等に勤務されている方

作品のサイズ 白黒は4切または半切、カラーは4切のプリントをパネルに貼って出品すること。応募者1人につき2点まで

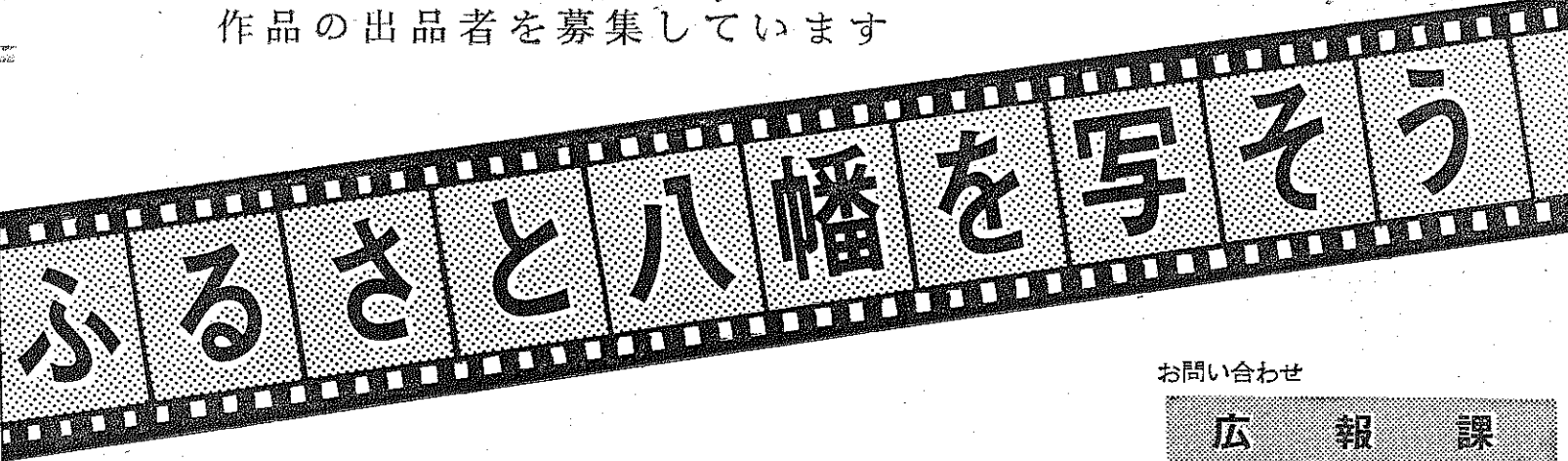
応募方法 応募用紙(市役所1階相談コーナーに備付けてあります。)と作品を市役所広報課へお持ちください

応募締切日 10月末日

その他 応募いただいた方にはそれぞれ記念品を用意しています

展示 11月上旬に市役所ロビーで展示します

作品の出品者を募集しています



お問い合わせ

広報課

電話 983-1111 (内線310)

市民福祉講座

1981年は国際障害者年で、そのテーマは「完全参加と平等」です。国際障害者年を障害者と私たちの新しい出発点とするために、市民福祉講座で障害者の問題に焦点を絞り、障害者と私たちの関わりをしっかりと見えて、地域社会で共に生きる意味やお互いが何をしていくべきかを考えてみたいと考えます。福祉に関心と熱意のある市民の方々は、多数参加をしてください。

とき いずれも講演日の午後1時30分から午後4時30分まで(11月30日については午前10時から午後4時までで各自昼食持参のこと)

ところ 市役所4階会議室(11月30日は中央小学校グラウンド)

月日	講演テーマ	映画等	講師
11月6日(土)	身体障害者のくらしとボランティア	映画「障害者のくらしとボランティア」	車いす仲間会 代表 長橋栄一氏
11月30日(日)	障害者と共にスポーツを楽しむ	映画「明日へ向かって」	京都障害者スポーツ振興会
12月20日(土)	視覚障害者のくらしとボランティア	映画「友だち盲人でできるかな」ガイドヘルパー実技	府盲人協会調査研究部部長 上村 邦夫氏
56年1月17日(土)	聴覚障害者のくらしとボランティア	映画「母さんは歌ったよ」手話基礎実技	全日本ろうあ連盟副連盟長 高田 英一氏
2月21日(土)	国際障害者年と私たち	討 論	私たちの手で創造しよう!国際障害者年実行委員会委員長 時田 幸治氏 大要ボランティア協会基本要綱作製委員会委員 竜田 裕久氏